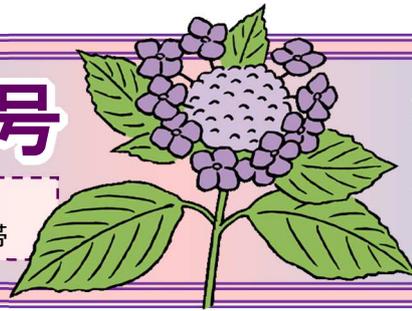


公民館だより6月号

大詫間の人口(令和5年4月末現在)
1,435人 男 706人 女 729人 530世帯



発行/大詫間公民館

〒840-2211
佐賀市川副町大字大詫間 560 番地 1
電話・FAX 0952-45-4480
Email koodakuma@city.saga.lg.jp

みんなで
たのしく
やってみよう

いごてだま 大会



だれでも簡単にできる軽スポーツです。気の合う仲間、お友達、ご家族、ご近所さんで5人のチームを作って参加してみませんか？(個人での申込も可)お子様から高齢の方まで、誰でも楽しめます。皆さんふってご参加ください。参加賞とすてきな賞品を用意しています。

日時 7月8日(土) 9:00~11:00
受付 8:30~
場所 大詫間公民館 大会議室
主催 まちづくり協議会健康福祉部会
お申込 後日配布のチラシをご覧ください

振休教室

公民館で小学生対象の体験教室「振休教室」を開催します。大詫間小学校のフリー参観デーの振替休日に合わせて行います。興味のある方はぜひご来館ください。

日時 6月12日(月)
10:00~12:00
場所 大詫間公民館
大会議室



公民館駐車場の車の通り抜けがまた増えてきています。中にはスピードを出したまま通り抜ける車もあり大変危険です。駐車場の通り抜けはしないでください。公民館の安全にご協力をお願いします。



6月予定表



※予定は変更・中止する場合があります

日	月	火	水	木	金	土
佐賀県内の交通事故の約55%が6~9時台・16~19時台の通勤・通学時間帯に起きています。 3分前の出発でゆとりのある運転を！				1	2 健康麻雀	3 ブーカス号 15:10~16:00
4	5 元気アップ教室	6 にこにこ運動教室	7 まち協本部役員会 ももの会	8 ときわ会	9 自治会長会 健康麻雀	10
11 大小フリー参観デー	12 元気アップ教室 振休教室	13 にこにこ運動教室 ブーカス号 14:00~14:50	14 GB 愛好会 つばき会	15 健康福祉部会	16 健康麻雀	17
18 【休館日】	19 元気アップ教室	20 にこにこ運動教室 GG 役員会	21 ゆりの会 GG 愛好会	22	23 健康麻雀 健康福祉部会	24 さつき会
25	26 元気アップ教室	27 にこにこ運動教室 三星クラブ 社協役員会	28 つばき会	29 川副町青少健	30 健康麻雀	

まちづくり協議会総会 ・ 松枝神社奉納浮立保存会総会

5月13日(土)午前10時から大詫間公民館大会議室で大詫間まちづくり協議会と松枝神社奉納浮立保存会の総会が開催されました。地域の活動についてなど、多くの質問があり地域の方の熱意が感じられました。いずれの総会もすべての議案が賛成多数で可決されました。



大詫間校区社会福祉協議会総会

5月23日(火)午前10時から大詫間公民館大会議室で校区社会福祉協議会の総会が開催されました。令和3年度に設立されたため、今回が第3回目の総会です。すべての議案が賛成多数で可決されました。



公民館主催講座 春の園芸教室

5月18日(木)10時30分から「春の園芸教室」を開催しました。昨年までは「成人学級」の一部として実施していた園芸教室でしたが、今年度から独立した全3回の講座になります。16名の参加があり、中川達也先生に園芸の基礎についてご指導いただきました。実習では、公民館玄関前のプランターや花壇に花苗を植えた後、好きな苗を選び、色とりどりの鉢を作り上げました。



第28回
後編

私と大詫間



～大詫間への想い 思い出等について～

地域の方から大詫間への想いや小さい頃の思い出などをお寄せいただく『私と大詫間』シリーズです。



第28回目(後編)は…
山口 三次 さん
(10区)

「時」は、昭和二十年八月十五日終戦。男女平等、言論の自由、そして二十才以上は選挙権を取得、昭和二十一年「マッカーサー」指令により農地改革が発せられ、地主、小作田は「三丁歩」以上は放棄、また旧円が新円に切り替えられ、国民平等の時代となりました。その後、昭和二十五年に朝鮮半島では南北三十八度線を境に朝鮮戦争が勃発し急激に諸物価が上昇しました。

農業では、昭和二十七年耕運機が入り始めました。昭和二十八年、九州北部地方を襲った豪雨、いわゆる「28水」による大水害で南川副、中川副の低地は冠水し、植えたばかりの稲苗は壊滅的被害を受けました。幸いにして被害を免れることができた大詫間から義援苗が送られました。そうして昭和三十年南川副町、中川副村、大詫間村が合併、翌年三十一年には西川副村を加え、四町村合併により川副町となりました。昭和三十年代は、耕運機以外は手作業で三十八年頃になると箱苗栽培が取り入れられ、二条田植機、二条稲刈機が入り機械化が進んでいきました。昭和四十四年に南川副農協、中川副農協、大詫間農協の三農協が合併、同年大詫間県営圃場整備事業が十年計画で着工、昭和四十五年新興搦圃場が個人に配分され、翌年四十六年は大野島北端より新興搦までの幹線水路工事が着工、昭和四十八年には「大詫間ライスセンター」が操業開始、農機具も乗用大型し、昭和五十三年には圃場整備事業、幹線水路が竣工し、現在に至っています。

また、長年農民の念願であった農業用水は、久留米から諸富町まで大詫間幹線水路が竣工し、平成四年諸富町より早津江川々底に埋設された管を通して大野島北端幹線水路に連結され、常時、農業用水の確保が可能になりました。これにより、大詫間農業にとって過酷であった水問題は解消されました。平成十九年、佐城農協(川副町など旧佐賀郡及び小城市、多久市)や佐賀市農協など8つの農協が合併して佐賀県農業協同組合という大組織が誕生し、百年前とは考へも付かぬ農業時代となりました。

今の平穏があるのは、先の太平洋戦で全国三二〇万名(大詫間一三五名)の方が国のため戦死された御霊と、北は極寒身を切る「アルーシャン」、「シベリヤ」、「満州」、南は熱鉄身を焼く赤道直下「ビルマ」、「インパール」、南海に浮ぶ孤島の戦場での血と汗と涙の結晶と言っても過言ではありません。このことを後世に継承する次第です。

以上百年農業など歴史の推移と概要です。

佐賀市のウェブサイト「つながる大詫間」

校区の行事やまちづくり協議会の活動、公民館講座の案内や報告など、楽しい地域の情報をお届けしています。写真も盛りだくさんの楽しいサイトです。ぜひチェックしてみてくださいね！



「つながる大詫間」のQRコードはこちら



大詫間公民館の利用について

サークル活動や地域コミュニティ活動の場として、佐賀市在住の成人の方は、どなたでも公民館を無料で利用できます。(営利活動等は除く)

利用者登録がお済みの方はスマホ等での予約も可能です。



「佐賀市立公民館予約サイト」のQRコードはこちら



ふれあい農園地域還元祭

5月9日(火)10時から、大詫間公民館大会議室において第1回目の「ふれあい農園地域還元祭」が開催されました。この催しは、大詫間まちづくり協議会暮らし絆部会の活動の一環である「ふれあい農園」で収穫された農作物を地域の皆さんと一緒に楽しむ目的で行われ、美味しい玉ねぎスープや煮込みがふるまわれ、収穫の喜びを皆さんと共有しました。



新玉ねぎの旨味がたっぷり入っていました



新鮮でおいしい玉ねぎをみんなで味わい、楽しく交流した後は、採れたての新玉ねぎを皆さん笑顔で持ち帰りました。

館長コラム

孫は来て嬉しい、帰って嬉しい。祖父母にとって孫が遊びにくるのは嬉しいが、子育てと違って孫育ては年齢的なこともあって体力、気力の面でも大変、このため孫が帰っていくと少しほっとするという内容です。まさか本当に帰ってくれて良かったと思う祖父母はいないでしょうか。家族が住む形態は、同居、隣居、近居、遠居というのがあって、隣居は文字どおり同じ敷地内若しくは隣に住居を構えること、近居は日常的に行き来ができて車で1時間以内の距離、遠居はこれ以上の距離に住むこと、とりわけ遠居の祖父母は、まさに孫は来て嬉しい、帰って嬉しいが実感ではないでしょうか。最近では、子育ての手伝いや親の介護・見守りもやりやすく、お互いの生活スタイルや価値観の違いを気にする必要もない近居が注目されているそうです。ほどよい距離にあって、必要な時に行き来できて、プライバシーにも配慮された近居は、これからの家族の住み方として増えていくのでしょうか。

ところで、近頃の祖父母の呼び方は、「じいじ、ばあば」が主流になっているそうです。「じいちゃん、ばあちゃん」、「おじいちゃん、おばあちゃん」は、いかにも歳をとったような感じがして嫌だという人もあるようです。「じいじ、ばあば」、何か甘たるく、幼児語のような感じがしないわけでもありませんが、かくゆうわが家も「じいじ、ばあば」です。「じいじ」と「ばあば」、後ろ二文字を逆にすると「じい」と「ばあ」、あまりの違いで大変なことになります。大変な違いで呼ばれないよう気をつけましょう。

